

1. 担当PM

プロジェクトマネージャー：越塚 登 PM
(東京大学 大学院情報学環 教授 /
YRP ユビキタス・ネットワーキング研究所 副所長)

2. 採択者氏名

チーフクリエイター：鶴田 真也
(筑波大学 情報学群情報メディ創成学類 2 年次、ジセカイ株式会社 デザイナー, エンジニア)

3. 委託金支払額

1,600,000 円

4. テーマ名

縦空間・レイヤー融合構造直感的楽曲ファイルブラウザ

5. 関連Webサイト

なし

6. テーマ概要

本提案では、ライブパフォーマンスまたはライブストリーミングサービスとの快適な連携、また一般ユーザにおけるコンピュータ、組み込み機器のストレスフリーな操作を実現することを目的とした、「縦空間・レイヤー融合構造」を採用する新しいファイルブラウジングシステムを開発する。

従来のツリー構造に基づくディレクトリ・ファイル構造では、木の枝が分かれてゆく

ようにディレクトリ階層が掘られ、枝の階層ごとにファイルが配置されていく。別の上階層から派生した枝に移るには、一旦その元階層まで戻らなくてはならず、直接移動することは出来ない。頭の中ではどの分類のこのフォルダの中に次に選みたい曲があると分かっていたとしても、一瞬でその曲にたどり着くことは不可能である。本提案では木構造のディレクトリシステムからの視覚的な脱却を図り、ファイルブラウジング体験の仕組みそのものを見直し、新しい具体案として「縦空間レイヤー融合構造」を採用するファイルブラウジングシステムを構想する。

7. 採択理由

ハードディスク型の音楽プレイヤーが普及する中で、膨大な楽曲コレクションの中から、どのように曲を選んで再生するかということは、これまでも様々なところで課題とされてきた。しかし現状では、まだそれに応える決定版となるようなシステムがあるわけではなく、本提案では、こうした課題にチャレンジしようとしている問題意識は評価できる。

ただし、その問題に対するアプローチとしては、ユーザビリティ等の観点から、現状の iTunes 等の一般的な楽曲選択及び再生(演奏)インタフェースに対する優位性を主張するために、クリエイターが現状の提案を更にブラッシュアップする必要があると考える。

したがって、本未踏事業期間の中で、更に検討を進める、大量の楽曲を利用して、適切または快適な音楽再生を実現できる、より洗練された、使いやすいユーザインタフェースを開発することが期待される。

8. 開発目標

DJ のようなライブ演奏を行なうときに、大量の楽曲データの中から適切なものをうまくリアルタイムに探すことができるブラウザを開発することが開発目標である。ポイントは、ライブ中という特殊かつ時間的制約、環境的制約が強い中でも、適切な情報を探せるということである。

9. 進捗概要

クリエイターの鶴田さんがプロジェクト当初から期間中に渡って、体調の悪い状況が続き、十分に進捗しなかった。具体的には、上記のような機能を持ったブラウザを作るために必要なユーザインタフェースの基本方式(グラフィックスルーチン部分)を開発したところまででとどまっている。そういう意味では、基本的な機能は実装できたが、

利用するために必要な細部の作り込みが十分に出来ている状況ではない。

10. プロジェクト評価

本人は、研究肌があるようで、自分のシステムやアイデアの新規性に非常にこだわっていた。従って、採択以後も自身の提案内容の新規性に常に疑いを持って考え込んでしまうタイプであった。私からは、これは研究ではないので、技術的新規性がなくても、意匠面で優れたところが一つあるだけでも十分他と差別化できる、そういう意味で「カッコいい」「誰もが使いたくなるシステム」を目指すように指導はしたものの、最終的には十分細部までの作り込みまで到達できなかった。

11. 今後の課題

当初、音楽演奏 DJ が発想の原点だったと思うので、もう一度それに立ち返って、DJ というユーザの視点で有用なものといったことを考えるとよいのではないかと思う。